

## 令和4年6月（第5回）役員会議事要旨

日 時 令和4年6月27日（月）13:00～14:05

場 所 第一会議室

出席者 9/9

楨野学長、高橋理事、舟橋理事、那須理事、前田理事、袖山理事、  
阿部理事、佐藤理事、藤原理事

（藤原理事は、ウェブ会議システム「Microsoft Teams」を使用して出席）

欠席者 なし

陪席者 青山監事、大原監事

学長から、議題「岡山大学病院放射線治療施設及び放射線治療装置の整備について」は、陪席制限をすることとしたい旨提案があり、了承された。

### ○ 議 事

#### 1 審議事項

##### （1）令和3年度 中期計画・年度計画の実施状況について

高橋理事から、令和2年度分までは中期計画・年度計画進捗管理シートの最終報告を学校教育法第109条第1項に基づく自己点検評価として公表していたが、令和3年度に受審した大学機関別認証評価において、同法における自己点検評価には当たらないという指摘を受けたため、令和3年度分については、中期計画・年度計画の実施状況という位置づけで、最終的に、評価センターのホームページで公表したい旨発言があった。

続いて、資料1に基づき、令和3年度 中期計画・年度計画の進捗状況について、最終報告の検証結果の説明があった。計画に挙げられた取組やその代替案が実施されているかを確認し、計画を達成できていない場合には、その理由、取組の内容及びプロセスを考慮し、総合的な進捗状況を判断していること、また、4段階による進捗状況の分布について説明があり、審議の結果、承認された。

##### （2）第3期中期目標期間の業務実績評価について

高橋理事から、資料2に基づき、第3期中期目標期間の6年目終了時評価として、文部科学省へ提出する業務実績報告書及び大学改革支援・学位授与機構へ提出する達成状況報告書について、自己判定の状況と目標値を達成していない中期計画に係る判定の考え方について説明があり、審議の結果、承認された。

##### （3）大学機関別認証評価に係る対応状況報告書について

高橋理事から、資料3に基づき、昨年の大学機関別認証評価の評価結果で、改善を

要する点として指摘されている、大学院医歯薬学総合研究科博士後期課程及び法務研究科における実入学者数が入学定員を大幅に下回っている（70%以下）状況について、改善された状況にあると大学が判断した場合は、対応状況報告書によって、各年度の6月15日から6月30日の期間に報告することになっている旨説明があった。本学の入学定員充足率の状況について、法務研究科は、平成29年度から令和3年度の平均は0.68であったが、平成30年度から令和4年度の平均は0.73と70%を超えたことから、改善された状況にあると判断し、大学改革支援・学位授与機構に報告する旨の説明があり、審議の結果、承認された。

このことに関し、佐藤理事から、大学院医歯薬学総合研究科博士後期課程についての改善状況及び改善が伴わない場合の不利益について質問があり、高橋理事及び学長から、定員未充足の状態は、認証評価における不適合や運営費交付金の返還等の不利益を被ることとなるため、入学定員を見直すとともに改組等によってより魅力ある大学院とするよう対処していきたい旨説明があった。

#### (4) 教職大学院認証評価に係る自己評価書（案）について

高橋理事の指名により、高瀬教育学研究科長から、教職大学院を置く大学は教育課程、教員組織、教育研究活動の状況について、5年以内ごとに認証評価を受けることが義務付けられており、今回は3回目の受審となること、また、6月30日までに、自己評価書を一般財団法人教員養成評価機構に提出するものであることについて説明があった。続いて、資料4に基づき、自己評価書（案）が示され、10の評価基準領域とそれぞれ更に細分化された評価基準について、自己評価の状況について説明があった後、審議の結果、承認された。

#### (5) 岡山大学「養成する人材像」「学部・大学院3ポリシー」案について

舟橋理事から、資料5に基づき、大学院改組を踏まえ、また、新学習指導要領で学んだ学修者に対応し、「養成する人材像」として「主体的に変容し続ける先駆者」を掲げ、そのような人材を養成するため、各課程における「3ポリシー」（卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー））をルーブリック的に整理することについて説明があり、審議の結果、承認された。

なお、ディグリー・ポリシーについては、従前はディプロマ・ポリシーとしていたが、ディプロマは学位記や卒業証書の意となることから、正確な英語表記に修正したことについて補足があった。

#### (6) 令和5年度概算要求について

袖山理事から、令和5年度概算要求について、運営費交付金関係の要求事項として、教育研究組織改革分では、「地域中核研究大学に新たな教育基盤を築く大学院共育共

創センター」、「国際構造生物学研究センター」及び「腸疾患の予防と腸の健康研究センター（仮称）」等の組織整備に関する事項、共通政策課題分では、設備整備マスタープラン等による研究設備の整備に関する事項について説明があった。続いて、施設整備関係の概算要求事項として、法・経済学系総合研究棟の改修等について説明があり、審議の結果、承認された。

(7) 岡山大学病院放射線治療施設及び放射線治療装置の整備について（※陪席制限）

榎野学長の指名により、前田理事から、メーカーの保証期間の満了日が迫っている現有の放射線治療装置の更新並びにそれに伴う放射線治療施設の改修計画について説明があり、審議の結果、了承された。

また、関連して、先端治療・臨床検査センター等整備運営事業について、5月16日付けであった、シーメンスヘルスケア（株）の代理人からの連絡に対し、6月9日付けで、本学代理人から回答を行ったこと、また、6月14日付けで、鹿島リース（株）の代理人から、別途連絡があったことの報告があった。

## 2 その他

(1) 退任の挨拶について

学長の紹介により、6月限りで退任となる青山監事及び三野副理事から挨拶があった。

(2) 次回開催日について

今回は、7月25日（月）13時00分から開催することとなった。

以上